

## 日本気象学会および関連学会行事予定

行 事 名	開 催 年 月 日	主 催 団 体 等	場 所
日本気象学会昭和59年春季大会	昭和59年 5 月 23日～25日	日本気象学会	気象庁
第20回理工学における同位元素研究発表会	昭和59年 7 月 2日～4日		国立教育会館
第10回国際生気象学会議	昭和59年 7 月 26日～30日		順天堂大学有山記念館・医学部
Twelfth International Laser Rader Conference	1984年 8 月 13日～17日	Int. Radiation Commission (IRC) Committee on Laser Atmospheric Sensing (CLAS)	Aix-en-Provence, France
第2回エアロゾル科学・技術研究討論会	昭和59年 8 月 23日～25日	エアロゾル研究協議会	京都堀川会館
WMO 都市気候とその応用に関する技術会議	1984年 11 月 26日～30日	WMO ほか	メキシコシティ
第8回風工学シンポジウム	昭和59年 12 月 6日～7日	日本風工学会ほか	気象庁講堂

## 第22期第15回常任理事会議事録

日 時 昭和59年 2 月 20日 (月) 09時 50分～13時 00分

場 所 気象庁観測部会議室

出席者 岸保, 松本, 嶋村, 杉村, 松野, 竹内, 増田, 村山, 田宮

## 議 事

## (1) 予算関係について

- ア. 国際交流費について、平年 100 万円を計上するようにし、昭和59年度については、さき決定の15万円に、10万円プラスすることで、承認された。
- イ. 昭和59年度の「天気」、「気象集誌」、「気象研究ノート」の印刷業者の入札については、事務局作成の仕様書を検討のうえ、2、3の業者を選定して行うことで了承された。
- ウ. 事務局員の採用については、次回常任理事会

で協議することとなった。

- エ. 「気象研究ノート」の増刷の問題については、在庫を調べたうえ、次回で検討する。

## (2) その他

- ア. 乱流シンポジウムへの共催については承認された。
- イ. 北海道大学 菊地勝弘会員 (代表)、伊藤朋之 (気象研)、大畑哲夫 (名大水圏研)、安成哲三 (筑波大)、山内 恭 (極地研) 各会員 (幹事) による月例会「南極および南半球の気象 (仮称)」の設置の件は承認された。

## 承認事項

個人会員 久保田祐士ほか 2名の新規加入及び外国団体 (A会員) の2団体の新規加入がそれぞれ承認された。